

一 編制任務

五〇航戦現狀説明書

昭和十八年三月十一日

(熊本納)

(一) 五〇航戦編制

(昭和十七年三月十一日新編)

隊名	機	機	機	機	機	機	機	機	機
夕風	竜鳳	鳳翔	警備隊	警備隊	警備隊	警備隊	警備隊	警備隊	警備隊
			36	36	36	36	36	36	36
4	5	3	2	1					

海軍

<p>新隊名 機動部隊</p>	<p>編制 A 50SF</p>	<p>兵力 機動 50SF</p>	<p>主要任務</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 搭乗員・訓練員</li> <li>2. 母船補充搭乗員・編制員・器材整備</li> <li>3. 対機動部隊訓練及実験・他部隊協力</li> <li>4. 富高、笠原、舟久島各基地・整備員</li> <li>5. 防衛隊・所屬一隊兵力以下</li> <li>6. 内務省・防衛省・協力</li> </ol> <p>機動部隊訓練員</p>
---------------------	--------------------------	---------------------------	--

(二) 機動部隊第1隊區分・依此 機動部隊訓練部隊トシテ  
編制並ニ任務

(原不詳)

三 機動部隊訓練部隊編成表 (三月十日以後)

(原簿)

部 隊	指揮官	兵 力	主 要 任 務
第一部隊	鹿屋空司令	鹿屋空	一 艦爆、艦攻搭乗員ノ錬成 二 母艦補充搭乗員ノ編制準備並ニ機材整備 三 笠ノ原、鹿兒島基地ノ整備保管 四 内戦部隊作戰協力
第二部隊	築城空司令	築城空	一 艦戰搭乗員ノ錬成 二 母艦補充搭乗員ノ編制準備並ニ機材整備 三 甯高基地ノ整備保管 四 内戦部隊作戰協力
第三部隊	鳳翔艦長	鳳翔、夕風	一 着艦訓練 二 航空訓練目標隊
第四部隊	濟津機長	濟津	航空訓練標的艦
第五部隊	龍鳳艦長	龍 鳳	一 着艦訓練 二 航空訓練目標隊
			作 戰 任 務
			其 他 特 令

1050  
(備考) 龍鳳ニ着艦訓練實施場合ハ着艦訓練實施期間夕風ヲ臨時第五部隊ニ編入ス

1951

32  
14  
88  
6  
860

31  
10  
165  
3  
309

81  
1309  
15  
1402

合計	支隊		支隊 隊長	支隊 副隊長	支隊 司令	支隊 副司令	支隊 副司令	支隊 副司令	支隊 副司令
	支隊長	支隊副隊長							
148 310	2 11	32 66	31 31	26 56	47 127	3 9	(外 籍1)	士 友	士 友
76 148	5 3	4 28	10 17	15 25	31 75	1 0		准 士 友	准 士 友
3,479 3,280	154 143	808 896	465 545	724 558	1,309 1,117	19 21		下 士 及 兵	下 士 及 兵
26 0	0 0	6 0	3 0	0 0	15 0	12 0		其 他	其 他
3,729 3,728	168 157	860 990	509 593	765 639	1,402 1,319	25 30		計	計

人員 (現定)

各隊現況大要

(原簿)

海

軍

<p>(二) 新設及施設 改帳大島</p>	<p>現 状 大 島</p>	<p>司令 書方 附書之 運中 所集之 念じ 可他 行 獲 獲 揚ノ 子 度</p>	<p>定備 他帳 新設 書方 外 收 索 力 余 力 了 不 他帳 集 揚ノ 子 度 改 帳 大 島</p>	<p>定備 目下 新設 書方 採 計 訓 練 基 地 之 使 用 中</p>	<p>定備 目下 新設 書方 採 計 訓 練 基 地 之 使 用 中</p>	<p>築造 新設</p>	<p>五月此階 新設 採 計 訓 練 基 地 可 使 用 可 能 ト 見 込 ム 以 下 工 事 中 新設 採 計 訓 練 基 地 八 月 下 定 内 容 有 事 一 派 遣 訓 練 中 築造 採 計 訓 練 基 地 冬 期 天 候 不 良 ノ 為 丹 次 採 計 訓 練 基 地 築造 採 計 訓 練 基 地 二 八 不 適 当 一 條</p>
---------------------------	----------------	--	--	--	--	------------------	---

(原 本 様)

<p>八月 完備 但之考査止一更ニテ訓如繁忙目未ニシテ</p>	<p>意風 回航 南定 着快訓如事ニ使用アリ</p>	<p>風翔 着快訓如快トシテハ完備 夕月ヲ部成快トシテ内海面アリ 惟テ若海訓如ニ從テ</p>	<p>基地 一印着工中</p>	<p>筆寫 七月 當局トシテ連絡研究中 (上月日) 筆寫ヲ終局 陸軍部トシテ 富島島ニ 既筆寫ヲ 後終ルル 旅而 筆 了</p>
-------------------------------------	--------------------------------	--	---------------------	--

(熊本朝)

(三) 各隊飛行機改修状況										
空 軍				空 軍				隊		
計	九式機	九式陸輸(三型)	九式機	計	九式陸輸(三型)	九式機改(一三型)	九式機改(一三型)	九九式機	九九式機改(三型)	機
36 12	2	0	36 12	12 24	4	36 12	0	36 12	0	宣教
53	1	1	21	30	3	1	44	19	20	現
33	1	1	14	17	3	1	34	16	18	完備
9	0	0	5	4	0	0	8	2	1	整備中
11	0	0	2	9	0	0	2	1	1	修理中
	借與				借與			九九機代用	完備機中五機翔為(借與)	記

海

軍

(原不詳)

備	考
<p>各隊習得状況説明 一、庫屋空</p>	<p>(1) 新設ハ 訓練員現在一〇八名(約三〇組)ニ 対シ 覚悟標 五中掛 毎日使用可能標教 約三二標ニテテ 概子 訓練ニ若ク又 (2) 新設ハ 訓練員一四三名(約七一組)ニ対シ 覚悟標 九式十種 概子 毎日使用可能標教 各一、二乃至一五標程度ニテ 九九式新設ハ 訓練 ノ状況ニ依リテ 一標ヲ七八組ニテ使用スル状況ニテ 訓練上支障大ニナラズ、 概子 覚悟標 覚悟標 覚悟標 二、第... 訓練員大印ハ 覚悟標ニ依リ 実施ヲ可トスル所 一、原... 覚悟標</p>

(簡本持)



三 訓練状況

(一) 本隊に於ける母艦格乗員養成教育実施概況

1. 教育態勢

母艦格乗員養成教育は、六月三日母艦格乗員養成教育実施概況

2. 教育員数

教育員数 二ヶ月毎に毎期 実施 45名

母艦格 36組 実施 24組 訓練員と教育員

3. 教育標準

母艦格乗員は、道中士友の少隊長、中士友等ハ

三番格乗員程度に作成任務に達スルヲ

目標トシ、~~訓練員~~教育標準に到達スルヲ

(七)

海軍



攻	燔	成	永	標	所	刻	孫
				部	部	部	部
				部	部	部	部

孫成教育之努力中志也 標材好之決燔決成  
 一不是、其部員ノ不是及母決持朱員部  
 刻部ノ製部立 訓部部員ノ短縮等ノ爲部  
 所部部員之部ノ得也状況ナリ

海 軍

(無本機)

(三) 搭乘員 始末 現狀	別表 搭乘員 始末 現狀 報告 通																			
---------------	-------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

海  
軍

(原  
本  
納  
)

四、作戦準備並に作戦進捗

(熊本總)

是に実係上

各隊、母体搭乗員は、母体中、主任務上、各隊  
隊、母体搭乗員ハ、訓練員大部分ニシテ、又  
隊、母体中、母体搭乗員ニ居ラザル状況ナリ、

従、母体中、外隊作戦ニ参加、訓練員ノ状況ニアラズ、  
各隊、母体搭乗員並ニ、母体搭乗員ノ一隊ヲ以テ、  
母体中、母体搭乗員ノ内隊作戦ニ協力スルハ、  
支障ナシトス。

目下、母体中、母体搭乗員ノ内隊作戦ニ協力スルハ、  
内隊作戦作戦ニ協力スルハ、母体搭乗員ノ一隊ヲ以テ、

海軍

(原不機)

世係及長鎮守府ノ要望ニ應ジ方針ヲ  
定メ隨時ニ封鎖・警戒及防犯等々ノ協力シテアリ  
（防犯及警戒等）  
者政府自身力ヲ以テ之ニ務ルニ非ズニ  
完備備アリトシテ了ス

五 他隊ニ對シテノ協力

先年隊ノ特殊ノ立向ニ於テ所定ノ掃動  
部隊ヲ掃行隊ノ專地訓練等ニ他隊  
ニ交換付

掃行隊等ニ全副協力スル外隨時ニ四五  
戰機等其地駐在隊ノ訓練ニ協力シテ了ス

（空機等）

海軍

六、其他

(一) 練習隊を隊卒業者より編成隊。職員・教育  
 師成教育の施すに隊訓の終に延びて多量の特・母終格  
 乗員に於ては不可欠なる条件なり。従つて各隊に於ては  
 如く母終格乗員師成教育ハ今後其引続を続行  
 するに現在此種師成隊を訂隊ノ半年分ヲ承り  
 居ル次第ナリ。此ノ見地に於て目下各隊に於てハ  
 師成教育ノ規制化、新編隊訂隊ノ良業風  
 養育ノ努力ナリ。

(二) 大正五隊年以來、競争様式ハ一大転換ヲ遂メ今日  
 之に在り母終格隊ノ根幹ハ形兵力トナル所隊局  
 於長期戦時端戦化スルに從ヒ、随時第一級ニ精進

(備不納)

海

軍

（原書）

ナル力ヲ補充増進スルニ至リテハ其戦術ノ如キヲ二節

脱スル際ノ重要ハ著レリ増大スル

而シテ其母於此ノ際ニ於テ其力ヲ蓄メテ其

果ガ精鋭卓抜ナル戦力ニ及ラズ最大ナル至實ト

母於此ノ際ニ其力ヲ蓄メテ其戦術ノ如キヲ二節

ノ要ニ依リ其力ヲ蓄メテ其戦術ノ如キヲ二節

格乗員如或此ノ際ニ其力ヲ蓄メテ其戦術ノ如キヲ二節

此ノ見地ニ於テ其戦術ノ如キヲ二節

視セラルルニ至リテ其戦術ノ如キヲ二節

内容竟ノ實ニ至リテ其戦術ノ如キヲ二節

海  
三

(三) 空戦隊之任務は母隊任務員指導教育ノ改状ハ

機材等ノ整備、所感ノ不足、及基幹員ノ不足

ニ依リ相当効率ヲ低下セリ、状況大ニ

之等ノ不足ニ対シ、休日極限、訓練効率ノ向上ヲ

推シ、努力中ニ在リ、得ル限、速ニ充實スルベシ

(四) 母隊指導員養成施設ノ編制ニ関シテハ既ニ

中央ニ連絡シ、在リ、諸員ニ要シ、考慮スルベシ

ト、着目、爆撃、雷撃等諸訓練ヲ主トシテ、内務

面印ニテ、実施ノ関係上、内務面行政沿革ノ沿革

隊ヲ以テ指導スルベシトス、

但シ、内務沿革ニ、業務、所感ノ不足、及基幹員ノ不足

等ノ指導ヲ收メ、可成ノ基地ナリ、現状ニ於テ、改編制

(原簿)

遊藝部



ニテ進ハリ可クス。

但シ 各隊訓練ニ不適ニ付

築隊員ノ劣リ由リ如ク他隊ト交代スルヲ要ス。

又 九九式機、重九式機、着陸訓練實施

意用修理完了後

ヲ同於ス

可能ナリ。今後共場ナシ要ス。

陸軍部

是 着陸訓練等及飛射訓練機收派等ノ任務

ニ付シ 驅逐機 夕風 一機又ニテハ 不足ナリ。

目下 各隊機上 隨時他隊ノ協力

ヲ得テ 何トカ訓練ヲ實施スルニ付

ニ付 状況許スニ付 次募更ニ 驅逐機一機ノ

増配ヲ希望ス。

陸軍部

軍

(箱本封)